

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年3月19日(2015.3.19)

【公開番号】特開2013-166818(P2013-166818A)

【公開日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2013-046

【出願番号】特願2012-29571(P2012-29571)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00	(2006.01)
C 08 K 5/00	(2006.01)
C 08 L 1/02	(2006.01)
C 08 L 23/10	(2006.01)
C 08 L 23/04	(2006.01)
C 08 L 77/00	(2006.01)
C 08 J 3/20	(2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00	
C 08 K 5/00	
C 08 L 1/02	
C 08 L 23/10	
C 08 L 23/04	
C 08 L 77/00	
C 08 J 3/20	C E R B
C 08 J 3/20	C E Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月3日(2015.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セルロースナノファイバー(A)、熱可塑性樹脂(B)及びH L B 値が8～13であるエーテル型ノニオン界面活性剤(C)を含む分散液。

【請求項2】

前記セルロースナノファイバー(A)が、染色されたものである、請求項1に記載の分散液。

【請求項3】

前記熱可塑性樹脂(B)が、ポリプロピレン、ポリエチレン及びポリアミドよりなる群から選ばれる少なくとも1種である、請求項1又は2に記載の分散液。

【請求項4】

前記エーテル型ノニオン界面活性剤(C)が、ポリオキシエチレンアルキルエーテル及びポリオキシエチレンアルキルフェノラートよりなる群から選ばれる少なくとも1種である、請求項1～3のいずれかに記載の分散液。

【請求項5】

前記エーテル型ノニオン界面活性剤(C)が、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル及びポリオキシエチレンポリオキシプロピ

レンギリコールよりなる群から選ばれる少なくとも1種である、請求項1～3のいずれかに記載の分散液。

【請求項6】

前記エーテル型ノニオン界面活性剤(C)が、ポリオキシエチレンのモル数が4～9のポリオキシエチレンノニルフェニルエーテルである、請求項1～3のいずれかに記載の分散液。

【請求項7】

請求項1～6のいずれかに記載の分散液から得られる樹脂組成物。

【請求項8】

(1)セルロースナノファイバー(A)を染色する工程、  
(2)分散媒(D)中で、工程1において染色されたセルロースナノファイバー(A1)、熱可塑性樹脂(B)及びHLB値が8～13であるエーテル型ノニオン界面活性剤(C)を混合し、分散液を調製する工程、及び  
(3)前記分散液から分散媒を除去する工程  
を含む樹脂組成物の製造方法。

【請求項9】

前記分散媒(D)が、水又は水を含む水性分散媒(D1)である、請求項8に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項10】

前記分散媒(D)が、水及び親水性有機溶媒を含む分散媒である、請求項8又は9に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項11】

(1)分散媒(D)中にセルロースナノファイバー(A)及び熱可塑性樹脂(B)を添加する工程、及び  
(2)HLB値が8～13であるエーテル型ノニオン界面活性剤(C)を添加する工程  
を順に有する分散液の製造方法。